



優雅な気持ちに浸れる、思い出深い
ラリックのグラス。

美しい地球であり続けるために 豊かな未来へ、いま、私たちができること

持続可能な社会を目指して、世界中で共通の目標として取り組むSDGs。地球資源の枯渇や環境問題、貧困などの社会課題をはじめSDGsには17の目標があり、あらゆる人がそれぞれの立場から目標達成に向けて行動することが求められている。ブランドもおしゃれも好き。豊かなライフスタイルを楽しみながら、サステイナブルな社会に目を向け、多彩な活動を実践しているテーブル&フラワーデコレーターの鬼頭郁子さんにお話を伺った。

心が潤うおもてなしを介し
誰もが幸せな社会に

フラワーアレンジメントやテーブルコーディネートを通じて、美しさの本質や心豊かな暮らしを提案している鬼頭さん。彼女の人生観はもとより、よりよい未来を見据えたサステイナブルな取り組みも興味深い。

「好きなものに囲まれて暮らすことは居心地がいいですね。私は子供の時から庭に季節の花々が咲き誇り、日常で自然の美に触れ、幸せを感じていたのでしょうね。家には来客が多かったので料理や食器をはじめ、おもてなしの心も育まれたのだと思います。大学卒業後はさまざまな習い事をして、視野を広げました。フラワーアレンジメントの最大の魅力は自己表現ができることでしょうか。私は就職しないまま結婚へ至ってしまったので自分の存在価値に不安を持っていました。でもある時、作品をすくく褒められ、ぜひ教えてとせがまれて。お花ひとつで、私の想いが伝え

られることに気づかされました。仕事にする気は微塵もなかったんですけどね(笑)。またたく間に生徒さんが増えちゃって。当時、お花のレッスンが流行していたけど、私はお菓子なども加えてテーブルを飾り、季節のお花とおもてなしのレッスンにしたのが受け入れられた理由だと思います。このラリックのグラスは教室

を始めたときにご褒美で買った思い出の品。お風呂上がりには貴腐ワインを入れて嗜む時間が大好きだったけど、2、3年で飽きてキャビネットにしまいっぱなしだったの。先日ラリックのワインをいただいたので、久しぶりに注いで。ああ、やっぱり素敵。上質なものは年月がたっても決して色褪せないと感じました。エルメスのバッグは母のお下がり。ベルトが傷んでいるから、こだけ直して使おうかなと思っています。高級ブランドだからというのではなく、なにより職人の魂や想いが込められた物に真の価値を感じます。時代時代で新しい出会いがあったり、自分の中のプー



Profile

「ザ・ハウス・オブ・ファインアーツ」主宰

鬼頭 郁子さん

「旬を取り入れた花とテーブルの教室」は主婦からプロまで幅広く支持され、全国から生徒さんが通う。サロン運営のみならず、トップブランドのコーディネートをはじめ多くの企業の花や食文化に関するセミナーなど「花・芸術文化協会」の理事長として多岐にわたり活躍。2015年からはフランスリモージュの磁器ブランド「アビランド」の日本総代理店も兼務。

<https://musee.co.jp>

ムが変わったりして寄り添うものも異なるけど、自分の好きなものは決してぶれない。自分のスタイルを貫き心地いいと感じることが大切です。

があるのではと思っています。いまの若い世代は、フリマアプリの利便などがあたりまえ。不要な物を必要とする方へ有効活用できるシステムは新しい文化として素晴らしいことだが、限りある資源の浪費、使い捨ての風潮には懸念も。そんななか、宅配買取サービス「ブランディア」はSDGsへの取り組みのひとつとして、廃棄プロジェクトを掲げている。たとえば値段がつけられない廃棄衣料などをリメイクやハンドメイドを行う方々の素材として無料で提供。廃棄素材が誰かの手で蘇り、新しい価値が生み出される。このようにSDGsに真剣に向き合っている企業は信頼に値する。買取サービスを利用する際には、こういう観点からチョイスするのもいいのではないだろうか。

「フランスにいる私の先生は、貧困者の方々に刺繍を指導し、それを皇族や貴族に購入いただき収益を還元するボランティアを行っていて、とても影響を受けました。私も大使館のイベント等と同様の活動をしたり、カンボジアなどから農業研修できた方々が作った野菜を使ってお料理レッスンをしたりと社会貢献を心がけています。五感に響く美しい自然や物を後世に残す。優しい気持ちを持って、相手のことを考える。誰もが平等で幸せに生きられる未来に向けて、ひとりひとりほんの些細なことでも、できること

美しい地球を、よりよい未来を目指して、意識を高めて行動を起こす。自分たちがいますべきことをあらためて考えてみたい。



1. 日本総代理店も務めるアビランドのコーヒーカップも若い頃に購入。しばらく使っていたけど、いまはシャンベルスタイル(楚々とした作風)が旬なので、たびたび登場させているそう。
2. サンルイのアンティークと季節の花をあしらうスタイルも素敵。「お金をかけなくてもアレンジはいろいろ考えられる。プチプラ商品に、ひとつ上質なアイテムを添えるだけでセンスアップできますよ」。3. 作り手の想いが詰まったアイテムは簡単に捨てられない。ベルトの修繕を検討中のバッグ。



Information

デファクトスタンダード

TEL 03-4405-8177

<https://www.defactostandard.co.jp>

